
ラ・プリマブランカえいふく

令和5（2023）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none">1)家庭的で温もりのある「よりそう保育」を行います2)スタッフは保護者一人ひとりの子育てに寄り添いサポートします3)一人ひとりの発達の個人差や、それぞれが感じる気持ちに寄り添った保育をします4)今日の保育と明日の保育、家庭と保育園の生活をつなげる保育を提供します5)認める保育を心掛けています
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>子ども一人ひとりの思いに寄り添い、いつも優しく包み込むような第二の母のような存在となれるスタッフ。いつも笑顔で職員、保護者、地域の方々などたくさんの人に支えられていることに感謝の気持ちを持つことのできるスタッフ。子どもの主体性を大切にし、それに必要な環境作りを心掛けるスタッフ。 スタッフはいつでもどんな時でも保育のプロとして冷静な気持ちで仕事に臨み、子どもたちの見本となるような行動をとるようにする。誰に対しても丁寧に心地よく接する。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもの無限の可能性→子どもたちは、無限の可能性を秘めて生まれてきます。信頼できる保育者が適切に働きかけながら一緒に過ごし、子どもの中に秘めている可能性を一つでも多く刺激できるような遊びの提供。 驚きと発見の体験→家庭では体験できない新しい発見や面白いという気持ちを味わえる場づくりをします。毎日の登園が楽しみになる保育環境の提供。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園のホームページやリーフレット、入園のしおりに、保育理念及び目標、園名の趣旨などを明示し、保護者及び利用希望者に周知しています
	内容	園の保育理念及び目標、運営方針、活動情報は、園のホームページ、リーフレット、入園のしおりなどに明示し、保護者及び利用希望者に周知しています。特に、園名のラ・プリマブランカ「純白(タブララサ)で生まれた子どもたちが、色んな経験を経て。自分の色を持つように願って」を表記し、基本保育理念である「つながる保育、よりそう保育」の趣旨を伝えています。職員には、入職時の研修や社内研修において、運営方針や保育目標の内容を説明しています。また、職員会議では、保育目標の実現に向けた保育活動について、意見交換をしています。
2	タイトル	年齢別の少人数保育や横割り保育、ユニット別の異年齢保育を行い、子ども一人ひとりが集団活動に主体的に関われるよう配慮しています
	内容	保育においては、子どもの発達状態に応じて、保育内容や環境設定を工夫しています。0～2歳児クラスでは、年齢別の少人数保育を行い、子ども一人ひとりの興味や関心に合わせた遊びができるようにしています。3～5歳児クラスでは、週2回の年齢別の横割り保育、週3回の4ユニットの異年齢保育を組み合わせています。年齢別の保育では、同年齢で共に成長すること、異年齢保育では、思いやりの心を育むことを大切にしています。日常の保育では、子どもの自主性や自発性を尊重するとともに、集団活動に主体的に関われるよう配慮しています。
3	タイトル	体操、ダンス、英語などの専門プログラムやレッスンを導入したカリキュラムを提供し、子どもの豊かな表現力を育てています
	内容	外部講師による体操教室や英語教室、コーディネーション運動、ダンスレッスンなどのカリキュラムを提供し、子どもの活動の幅を広げています。体操教室では、子どもの運動機能や身体の発達を促進するプログラムを提供しています。英語教室では、英語で歌遊びなどを行いながら、外国の言語に触れることを楽しんでいます。また、頭と体を使ってゲーム遊びなどを楽しみながら運動神経を高めるコーディネーション運動、音楽に合わせて自然にリズム感を養うダンスレッスンを通して、子どもが様々な表現を楽しめるようにしています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	単年度の事業計画については、策定の段階で職員が参加し、重点実施事項の達成に向けた実行計画を設定することが望まれます
	内容	単年度の事業計画には、法人の中長期計画「3つの改革の推進ー目指すべき姿・あるべき姿」に基づいて、重点実施事項を明示しています。事業計画の内容は、職員会議で説明するとともに、保育業務支援システム内で閲覧できるようにしています。単年度の事業計画については、重点実施事項の達成に向けて、具体的な実施方策及びスケジュールを設定し、実行計画として運用することが望まれます。また、単年度事業計画の策定においては、職員が参加することで、事業計画に対する職員の参画意識を高めることが期待されます。
2	タイトル	園独自の事業継続計画については、現行のリスク対策を整理し、保育現場の実態に合致した対応方法を明示すると良いでしょう
	内容	非常災害時における対策については、「非常災害対応マニュアル」を基に、安全確保対策を講じています。また、想定されるリスクに関するマニュアルを整備し、園全体のリスクマネジメントに取り組んでいます。BCP(事業継続計画)については、法人のBCPを基に、リスク発生時の初動、保育環境の復旧に向けたプロセスなどを明示しています。園では、園独自のBCPの策定を検討していますが、策定においては、現行のリスク対策を整理し、保育現場の実態に合致した対応方法や復旧に向けた具体的な方策を明示すると良いでしょう。
3	タイトル	各職員の担当業務における課題や目標を明確にし、目標達成に向けた方策及び実施期間を設定した育成計画を策定することが期待されます
	内容	グレード表及び人事考課表、職員の研修計画を基に、階層・グレード別のスキルアップを図り、園全体の人材育成を推進しています。職員の個人別育成においては、職員との個別面談を通じて、キャリアプランや受けたい研修を確認しています。今後は、各職員の担当業務における課題や目標を明確に設定し、目標達成に向けたプロセス、方策、実施期間を明確に設定し、個人別育成計画に反映することが期待されます。個人別育成計画については、現行の職員分掌、業務分掌表、グレード表、研修計画を基に、各職員の育成計画を策定すると良いでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル①	園全体を一つのチームとして意識し、チームで考える保育に取り組んでいます	
内容①	<p>日常の保育や行事においては、保育の質向上に向けてチームで考える保育を行うことを、単年度の事業計画における重点実施事項として設定しています。職員会議やクラス会議においては、保育の質向上や業務改善に向けた取り組みについて、職員同士で意見交換を行う時間を設け、意思疎通を図っています。日常の保育においては、園全体が一つのチームであることを意識し、クラス及び職員間で連携しながら活動することを実践しています。行事の実施にあたっては、行事ごとに複数の担当者を選任してチームを編成し、チーム単位で企画や運営を行っています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	行事の内容や運営方法については、子どもたちが話し合っ決めてようにしています	
内容②	<p>行事に関しては、子どもたちが主体的に取り組むことを大切に、日頃から子どもが興味や関心を持っていることを把握するようにしています。0～2歳児クラスの子供たちには、行事に関心を持てるよう、日常の保育において行事に関する話をしています。3～5歳児クラスでは、「こども会議」を開いて、どんなことに挑戦したいか、何を楽しみたいか、家族に何をてもらいたいかなどを話し合っ決めていきます。行事では、子どもたちの取り組む過程、目標に向かって頑張っている姿を保護者に観てもらい、喜びを共感できるようにしています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル③	食育活動を通じて食への関心を深め、食品ロスの削減について学んでいます	
内容③	<p>子どもが食への関心を深めるよう、「年間食育計画」を作成し、食育活動を行っています。園庭の畑では、いろいろな野菜を栽培していますが、給食で残った野菜や果物の皮を、生ごみ処理機を使って肥料として再生利用しています。子どもたちは、自分たちで植えた野菜の世話をし、収穫して食べるという流れを体験するとともに、食品ロスの削減につながっていくことを学んでいます。保育においては、とうもろこしの皮むきや野菜切りなど、食材に触れる機会を設けています。また、ピザやクッキーなどを作るクッキング保育を行っています。</p>	

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	保育理念や保育目標は、入園のしおりなどを通じて保護者及び職員に周知しています 園の保育理念、保育目標、運営方針は、リーフレットや入園のしおりに明示し、玄関フロアに掲示しています。職員には、入職時の研修や社内研修において、保育理念や保育目標の趣旨を説明しています。また、職員会議では、「自己評価表」を基に、保育目標の実現に向けた保育活動について意見交換をしています。保護者には、入園説明会において、保育理念や方針の趣旨、保育の内容について説明しています。また、保護者会を年3回、運営委員会を年2回実施し、園の活動状況を報告するとともに、保育運営に対する保護者の意見や要望を確認しています。 「職員分掌」「業務分掌表」を基に、園全体の運営管理体制を整備しています 役割ごとに業務内容及び業務分担、求められる技術・人物像など明示した「職員分掌」「業務分掌表」を基に、園全体の運営管理体制を整備しています。保育運営にあたっては、施設長を補佐するリーダー、週単位で担当するクラスリーダーを配置し、役割と責任を明確にしたうえで施設長が統括しています。また、職員会議、リーダー会議、クラス会議を通じて、園全体の保育状況を確認しています。施設長は、系列園の園長が出席する法人の園長会議を通じて、保育事業の動向や各園の保育状況を集約し、職員会議を通じて職員に報告しています。 重要な案件や課題については、法人本部の担当部署と連携して対応しています 園全体の運営体制や設備環境などに関わる重要な案件や課題については、施設長及びリーダーが内容を確認し、法人本部の担当部署や園長会議を通じて検討しています。事案の決定内容や経緯については、職員会議で職員に説明しています。保護者には、保護者会、運営委員会を報告しています。また、内容に応じて、園便りや連絡帳アプリを通じて伝えています。日常の保育における事案については、クラス会議やリーダー会議などにおいて対策を協議するとともに、各クラスが連携して対応することを推進しています。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>アンケートや個別面談を通して、保育に関する保護者及び職員の意向を集約しています</p> <p>園の保育運営や日常の保育に関する保護者の意向や要望については、運営委員会や行事後のアンケートなどを通じて把握しています。行事の運営や午睡時の安全管理など、保育に関する多くの保護者からの要望に対しては、職員会議で内容を共有し、園全体で連携して対応することを促進しています。保育運営や担当業務などに関する職員の意向については、「職員アンケート」「自己評価表」を基に個別面談を実施し集約しています。保育業務に関わる事項については、施設長及びリーダーが、迅速に回答するよう努めています。</p> <p>地域懇談会や私立保育園連絡会などに参加し、地域の保育ニーズを把握しています</p> <p>施設長及び担当職員は、区の「地域懇談会」「私立保育園連絡会」「保育士交流会」「幼保小連携担当者連絡協議会」に参加し、地域の保育ニーズや保育事業環境に関する情報を収集しています。地域懇談会では、地域における保育環境や課題について集約しています。また、私立保育園連絡会では、行政の保育施策の内容や方針を確認しています。収集した情報や資料は、保育業務に関わる事項を中心に職員に提供しています。保育事業全体の動向や園の経営状況については、法人の収支報告及び財務情報を通じて把握しています。</p> <p>法人の中長期計画に基づいて単年度の事業計画を策定し、重点実施事項を設定しています</p> <p>法人の中長期計画「3つの改革の推進－目指すべき姿・あるべき姿」に基づいて、単年度の事業計画を策定しています。今年度の事業計画は、「育ち合い」をテーマとし、子ども、職員、保護者が互いに育ち合っていける関係性を築くための環境を整えることを、重点実施事項として設定しています。事業計画の内容は、職員会議で説明するとともに、保育業務支援システム内で閲覧できるようにしています。単年度の事業計画については、重点実施事項の達成に向けた実行計画を策定し、各職員の事業計画に対する参画意識を高めることが期待されます。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

入職時の研修や職員会議において、職員の基本姿勢や行動規範などを周知しています

保育に従事する職員としての基本姿勢、守るべき法や行動規範、倫理については、入職時の研修において、保育関連機関の倫理綱領を基に周知しています。日常の保育においては、保育所保育指針に基づいて、子どもの人権を尊重した保育活動に取り組んでいます。また、職員会議では、職員の基本姿勢や保育における不適切な言動などについて、職員間で意見交換をする時間を設けています。規範や倫理にふさわしくないことや不適切な言動が見られた時は、施設長及びリーダーが、気づいた点を面談などを通じて伝えるようにしています。

「苦情対応フロー」を基に、保護者からの苦情や要望に対する対応体制を整えています

保護者からの苦情や要望に対しては、「苦情対応フロー」を基に、受付担当者、解決責任者、第三者委員を設置し、対応するための体制を整えています。保護者には、入園説明会で、苦情相談の解決に向けた仕組みや園の対応方法を説明しています。また、玄関フロアに「ご意見箱」を設置し、保護者がいつでも意見を表明できるようにしています。虐待防止策については「虐待対応マニュアル」を基に、虐待の早期発見のポイントや留意点を周知しています。虐待が疑われる場合は施設長に報告し、行政の関係機関と連携して、適切に対応する体制を整えています。

子育て支援活動やボランティア、職場体験を通じて、地域との関係作りを推進しています

地域の子育て親子を対象に、育児相談などの子育て支援活動を行っています。また、私立保育園連絡会や幼保小連携担当者連絡協議会、保育士交流会での交流を通じて、地域関係機関とのネットワーク作りを推進しています。ボランティアに関しては、地域の図書館の職員によるボランティア活動として、絵本の読み聞かせを受け入れています。また、地元の中学校と連携し、学校教育への協力を基本とした生徒の職場体験を、定期的に受け入れています。実施にあたっては、「職場体験のしおり」を基に、実施方法を明示し受け入れ体制を整備しています。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>「非常災害対応マニュアル」を基に、非常災害時の安全確保対策を講じています</p> <p>地震、火災、風水害などの非常災害時における対策については、「非常災害対応マニュアル」を基に、安全確保対策を講じています。地震や火災発生時の対応に関しては、初動対応、安否確認、避難経路の確保、避難先への避難誘導などをフローチャートに明示し、全職員に周知しています。避難訓練については、「避難訓練年間計画」に基づいて、避難誘導及び消火訓練、災害伝言ダイヤル訓練、救急対応訓練などを実施しています。保護者には、避難訓練の実施内容を事前に周知し、引き渡し訓練への参加を要請しています。</p> <p>リスクマネジメントに関するマニュアルを基に、必要なリスク対策を整備しています</p> <p>災害対策、事故防止、衛生管理、感染症対策、救急対応などに関するマニュアルを整備し、園全体のリスクマネジメントに取り組んでいます。園内外における事故防止については、「ヒヤリハット報告」「事故報告書」「年齢別・安全点検表」を共有し、再発防止に努めています。防犯に関しては、地元の警察の協力を得て、不審者対応訓練を実施しています。BCP(事業継続計画)については、法人のBCPを基に保育環境の復旧に向けた進め方を示していますが、園では、現行のリスク対策を整理し、園の実態に即した計画を策定することを検討しています。</p> <p>重要なデータや個人情報に関しては、情報管理用パソコンを使用し厳重に管理しています</p> <p>園内で取り扱う重要なデータや個人情報は、アクセス権限やパスワードを設定した情報管理用パソコンを使用し、厳重に管理しています。保育業務における共有データは、業務用パソコン及び保育業務支援システムで管理しています。重要な書類や資料は、鍵付きのキャビネットに保管し管理しています。個人情報に関しては、入職時の研修や職員会議において、「守秘義務及び情報管理に関する誓約書」を基に、取り扱い方法や注意点を周知しています。保護者には、入園時に、「個人情報取得同意書」を通じて、園の管理方法について説明しています。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
○あり ●なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

職員との個別面談を通じて、担当業務や職場環境に関する状況を把握しています

職員の募集は、法人と連携し、ホームページや人材紹介会社などを通じて行っています。採用においては、施設長と法人本部による面接を実施し、本人の意向や保育経験などを確認するとともに、園の保育方針や保育内容を具体的に説明し、ミスマッチの防止を図っています。各職員の就業状況については、職員の自己評価やアンケート、ストレスチェックの結果を基に個別面談を実施し、担当業務や職場環境などに関する状況を把握しています。通常の業務においては、事務作業の効率化などを通じて、残業の適正化、有給休暇の取得を促進しています。

各職員の目標達成に向けたプロセスを、個人別育成計画に反映することが期待されます

階層・グレード別の業務内容、保育実践に必要な専門的知識・技術、求められる保育士の姿を明示した「グレード表」をキャリアパスとして運用するとともに、「人事考課表」を基に園全体の人材育成を推進しています。職員の研修は、各職員の研修目的に基づいて、外部研修や社内研修の受講を設定しています。職員の個人別育成においては、職員との個別面談を通じて、キャリアプランや受けたい研修を確認しています。今後は、各職員の担当業務における課題や目標を明確化し、目標達成に向けたプロセスを個人別育成計画に反映することが期待されます。

クラス及び職員が連携し、園全体が一つのチームとして活動することを推進しています

日常の保育においては、クラス及び職員が連携しながら、園全体が一つのチームとして活動することを推進しています。職員会議やクラス会議においては、保育の質向上や業務改善に向けた取り組みについて、職員同士で意見交換を行う時間を設けています。行事の企画運営においては、チームを編成し、チームとして活動することを促進しています。また、保育の質向上に向けては、職員のコミュニケーション能力や意思疎通の向上を図る取り組みを行っています。研修の受講後は、研修報告書を作成するとともに、研修内容を発表し共有しています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保育活動においては、園全体をチームとして意識し、チームで考える保育を実践することを、前年度の重点目標として設定しました。特に、新人、中堅、ベテランの職員同士、また、常勤及び非常勤の全職員が互いに意見を言い合える関係作りを推進し、チームで考える保育を行うことを重点実施事項として設定しました。具体的な取り組みとして、チームを意識した保育の実践に関する園内研修を、5回実施しました。また、外部研修を、全職員が一人2回以上受講しました。研修の受講後には、職員会議において研修の内容を発表し、職員間で共有しました。日常の保育においては、クラス会議を毎月1回実施し、子ども及び保護者との関わり方などについて、職員同士で意見交換を行いました。取り組みの結果、研修を通じて習得した様々な知識や情報を、園全体で共有することができました。また、クラス会議を通じて、職員のコミュニケーションを深めることができました。一方、チームで考える保育の実践については、職員間の意思疎通をさらに高めることを課題として抽出しました。今年度も引き続き、園全体をチームとして意識した保育を、実践することになっています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

重点目標及び重点実施事項の設定にあたっては、全職員を対象に、新人、中堅、ベテランの職員同士が互いに意見を言い合える関係作りを推進し、チームで考える保育を実践することを、単年度の事業計画に明示しています。取り組みにおいては、チームを意識した保育に関する園内研修を実施するとともに、外部研修を受講し習得した内容を職員間で共有しています。日常の保育においては、クラス会議で、子ども及び保護者との関わり方などに関する職員同士の意見交換を行っています。取り組みの結果、研修を通じて習得した様々な知識や情報を、園全体で共有することができた、クラス会議を通じて、職員同士のコミュニケーションを深めることができたなど、いずれもチームで考える保育につながる有効な取り組みであったといえます。今年度は、チームで考える保育の実践に向けて、職員間の意思疎通をさらに高めることを課題とし、園全体が一つのチームであることを意識した保育に取り組むことを重点実施事項として設定しています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度は、コロナ禍における保育活動の制限、行事内容の変更や中止などにより、保護者が保育に参加する機会が減少したことから、子どもの成長に関する保護者との相互理解を深めることを、重点目標として設定しました。取り組みとして、オンラインでの保育参観を3回実施し、保育活動や給食における子どもの様子を見てもらいました。また、保護者懇談会を1回、運営委員会での意見交換を2回実施し、保護者の意向や要望を聴くとともに、園の活動状況を伝えることで、保育活動に対する相互理解を深めました。行事に関しては、行事内容や運営方法を記載したお便りやクラス便りを通じて、子どもたちの取り組み状況を保護者に伝えました。また、行事後のアンケートや年度末の保護者アンケートを通じて、保護者の意向を集約し対策を協議しました。取り組みの結果、保護者懇談会を通じて、保護者同士で話し合う機会を提供することができました。また、運営委員会における意見交換では、保護者からの感謝の気持ちを伺うことができ、職員の意欲向上につながりました。取り組みの結果を検証し、今年度は、保護者と懇談する場を増やし、子育てについて保護者と一緒に考える機会を提供することにしています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

重点目標の設定においては、コロナ禍において、保育活動の制限や行事内容の変更及び中止などにより減少した保護者の保育参加の機会を増やすことを、重要課題として抽出しています。また、子どもの成長に関する保護者との相互理解を深めることの重要性を、単年度事業計画に明示しています。取り組みについては、オンラインでの保育参観を実施するとともに、保護者懇談会や運営委員会を実施しています。保育参観では、オンラインで保育活動や給食における子どもの様子を観る機会を提供しています。保護者懇談会や運営委員会では、意見交換や保護者の意向や要望を聴く時間を設けるとともに、園の活動状況を伝え、保育活動に対する相互理解を深めています。行事に関しては、行事内容や運営方法を記載したお便りやクラス便りを配信し、子どもたちの取り組み状況を保護者に伝えています。また、行事後のアンケートや年度末の保護者アンケートを通じて、保護者の意向を集約し、対策を協議しています。いずれの取り組みも、保護者との相互理解を深めるうえで、有効な取り組みであったといえます。今年度は、保護者と懇談する機会をより多く提供することを、重点実施事項として設定しています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園の活動情報を園のホームページやパンフレットに掲載し、利用希望者に提供しています</p> <p>園の活動情報は、園のホームページやパンフレット、見学のしおりなどを通じて、利用希望者に提供しています。区のホームページの施設案内には、保育目標や保育時間、クラス別定員及び次月の空き状況、職員体制など、園の基本情報を閲覧できるようにしています。また、「保育園からのひとこと」を掲載し、保育理念である「子どもの心に寄り添った保育」の内容を、わかりやすく伝えています。区主催のイベントでは、園のパンフレットを情報コーナーに設置し、地域の子育て家庭や利用希望者が入手できるようにしています。</p> <p>園のホームページは、定期的によりニューアルをして最新情報を伝えるようにしています</p> <p>園のホームページやパンフレットは、定期的によりニューアルをして最新情報を伝えるようにしています。夏祭りや運動会などの行事の様子は、写真を交えてタイムリーに掲載しています。また、子どもの主体性を尊重した保育活動など、園が大切にしている保育の取り組みを紹介しています。ホームページからは、重要事項説明書や入園のしおりを閲覧することができるようにしています。園では、法人本部と連携し、SNSやコンピューターネットワークを通じて配信するライブカメラなどを活用し、利用希望者への情報提供を幅広く行うことを検討しています。</p> <p>園の見学においては、見学希望者の要望に合わせて個別に対応しています</p> <p>園の見学については、申し込み方法や見学内容をホームページに掲載するとともに、電話での問い合わせにも応じています。見学の日程は、見学希望者の要望に合わせて設定し、個別に対応しています。見学の案内は施設長及び主任、事務職員が担当し、園の保育方針や保育内容などを具体的に説明するとともに、保育中の子どもたちの様子を見てもらえるようにしています。また、希望に応じて、見学者の育児相談に応じる時間を設けています。見学後の質問に対しては、担当者が電話で受け付け、適切な対応を図っています。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園決定者には個人面談を実施し、保育における保護者の要望を集約しています</p> <p>入園決定者には、入園前の個人面談の日程を設定し、入園のしおり及び重要事項説明書、入園に必要な書類を送付しています。個人面談においては、施設長及び主任、看護師、栄養士が、園生活に必要な基本ルールや重要事項を説明したうえで、同意書を交わしています。また、保護者から、子どもの家庭での生活状態、保護者の就業状況、保育における要望を聞き取り、面談シートに記録しています。面談シートの記載内容は、担任の職員を中心に共有し、子ども及び保護者が園生活をスムーズに送ることができるよう、入園後の適切な対応を図っています。</p> <p>入園当初は子どもが安心して園生活が送れるよう、慣れ保育の期間を設けています</p> <p>入園当初は、子どもや保護者の不安に配慮し、安心して園生活ができるよう慣れ保育の期間を設定しています。慣れ保育においては、子どもの家庭での様子や保護者の事情に合わせて、少しずつ園での生活に慣れていけるように保育時間を設定しています。0～2歳児クラスでは、担任の職員を継続して配置し、子どもが親しみを持って安心して過ごせるよう配慮しています。3～5歳児クラスでの異年齢保育においては、3歳児クラスの子どもたちが異年齢での保育に溶け込めるよう、1か月間は、様々な職員や友だちと触れ合える機会を設けています。</p> <p>転園や退園をする子ども及び保護者への支援を、継続して行う体制を整えています</p> <p>日常の保育においては、子ども及び家庭の状況を記入した「パーソナルカード」などを基に、子ども一人ひとりへの適切な対応を図ることを推進しています。職員会議では、入園時からの情報を共有し、園全体で連携して対応することを周知しています。保護者には、連絡帳や送迎時の対話を通じて、子どもの様子をていねいに伝えるよう努めています。年度途中で転園や退園をする子ども及び保護者には、新しい生活に期待が持てるよう、声かけをしています。また、転園及び退園後も、保護者からの相談に応じるなど、支援を継続して行う体制を整えています。</p>		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
子ども一人ひとりの発達状況を確認し、全クラスで個別指導計画を作成しています 入園後の子どもの情報は、送迎時の対話、連絡帳、個人面談などを通じて集約し、個別指導計画に反映しています。特に、家庭での子どもの状況、保育中に見られる子どもの発達状態などを確認しています。個別指導計画は、0～2歳児クラスだけでなく、3～5歳児クラスにおいても毎月作成しています。3～5歳児クラスの個別指導計画は、異年齢保育において、子どもの成長の目安として活用しています。個別指導計画の作成にあたっては、月に1度、保育内容の振り返りを行うとともに、「発達チェックシート」を基に子どもの発達状況を確認しています。		
全体的な計画を基に年間指導計画や月案を作成し、保護者に周知しています 全体的な計画の作成においては、子どもの心情、意欲、態度を確認したうえで、養護及び教育の領域ごとに、保育目標を記載しています。また、全体的な計画を踏まえて年間指導計画、月案、個別指導計画を作成し、定期的に見直しを行っています。各クラスの年間指導計画は、年度初めに、保護者アプリを通じて保護者に配信しています。保護者会においては、年齢ごとの子どもの発達、各クラスの保育のねらいなどについて説明しています。また、園便りやクラス便りを通じて、日常の保育の状況をわかりやすく伝えています。		
指導計画を職員間で共有し、事例を基に保育活動の内容について協議しています 指導計画については、保育業務支援システムを通じて全職員が共有し、クラス会議や振り返り会議において確認しています。入園時には、パーソナルカードに記入された子どもの発達に関する状況を把握し、入園後は、個別指導計画、月案、週案に基づいて、保育活動を行っています。職員会議やクラス会議、振り返り会議においては、具体的な事例を基に、指導計画の内容について協議しています。保護者への連絡事項については、「引継ぎノート」や保育業務支援システムを通じて共有し、職員間で迅速かつ正確に伝えることを徹底しています。		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>子どものプライバシーの保護や羞恥心に配慮し、保育環境の設定を工夫しています</p> <p>「人権擁護のチェックリスト」を基に、子どもの人権を尊重する保育に関する振り返りを行っています。保育においては、子どもの名前を、呼び捨てやあだ名で呼ぶことは禁止しています。子どもに関する情報の取り扱いに関しては、保護者に確認し、同意を得ています。子どものプライバシー保護については、子どもの羞恥心に配慮した保育環境を設定しています。おむつ交換やトイレ使用では、他の人の目に触れないよう、個室を設置しています。プール遊びやシャワーでは、シートを張って外部から見えないよう配慮しています。</p> <p>子どもの生活習慣や保護者の価値観に配慮し、柔軟に対応する体制を整えています</p> <p>日常の保育においては、子どもの生活習慣に配慮し、子どもの思いを受け止めて、楽しく過ごせるよう努めています。保護者からの要望に対しては、保護者の価値観を考慮し、柔軟に対応することを心がけています。特に、家庭の事情や保護者の就労状況を把握し、登降園の時間設定や保育活動における個別対応などを、柔軟に行うことができる体制を整えています。子どもの様子に心配な状況が見られるなど、保護者に伝える必要が生じた場合は、施設長が、子どもの心と体の成長に関する助言や改善策を話すよう努めています。</p> <p>虐待防止に関する研修やケース会議での協議を通じて、職員の理解を深めています</p> <p>虐待の防止に関しては、「虐待対応マニュアル」を整備するとともに、虐待に関する研修の受講を推奨しています。ケース会議においては、気になる状況があるときの対応方法などを協議し、職員間で共有しています。特に、送迎時において、子ども及び保護者の様子を視診する方法を確認しています。また、保護者の様子が気になる場合は、いつでも相談に応じることを伝えるよう周知しています。保育の質向上会議では、虐待をテーマに早期発見に向けた留意点を話し合うなど、職員の理解を深める取り組みを行っています。</p>		

サブカテゴリ-6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ-6の講評		
<p>業務分野ごとにマニュアル及び手順書を整備し、保育業務において活用しています</p> <p>マニュアルや手順書については、事故防止・事故発生時・危機管理関連、アレルギー関連、衛生管理・保健関連、保育関連・作業手順書など、保育業務を中心に整備しています。マニュアルの作成においては、施設長、保育担当職員、栄養士、看護師が連携し、専門分野ごとに保育現場の実態に合致した内容に取りまとめています。マニュアルや手順書は、各クラスに設置し、いつでも確認できるようにしています。また、重要な手順については、フローチャートを作成し、職員がマニュアルの内容を理解し、保育業務においてすぐに活用できるようにしています。</p> <p>マニュアルは読み合わせ及び見直しを行い、必要に応じて内容を変更しています</p> <p>マニュアルや手順書は、職員会議において読み合わせを行い、内容を確認するとともに必要に応じて見直し及び変更をしています。プールや水遊びなどの管理マニュアルについては、実施する時期に合わせて読み合わせを行っています。読み合わせ及び見直しを行う際は、子どもの最善の利益を基本とし、保育現場における業務の実態に合っているかを中心にチェックしています。入園のしおりや重要事項説明書については、定期的に見直しを行い、必要に応じて更新しています。更新の内容は、保育業務管理システムを通じて職員に周知しています。</p> <p>保護者及び職員の意見や提案を取り入れ、保育における業務水準の向上を図っています</p> <p>保育業務の内容については、運営委員会、保護者会、懇親会、保護者アンケートなどを通じて保護者の意見を集約し、業務水準の向上に向けた取り組みを推進しています。今年度は、夏祭りの運営に関する意見を取りまとめ、次年度に向けた取り組み内容を検討しています。職員からの意見や提案は、個別面談や職員会議、日常の会話を通じて集約し、保育運営に反映しています。今年度は、「散歩マニュアル」における手つなぎルールの改訂、掃除作業の手順の変更をしており、このような取り組みからも業務水準の向上を図っています。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもたちが興味や関心のある遊びができるよう、保育環境の設定を工夫しています</p> <p>0～2歳児クラスでは、年齢別の少人数保育を導入し、子ども一人ひとりの興味や関心に合わせて、探索活動、手先遊び、ごっこ遊び、運動遊びなどを行っています。また、子どもが安心して過ごせるコーナーを設置するなど、保育環境の設定に配慮しています。3～5歳児クラスでは、異年齢保育を行っていますが、子どもたちが興味のある遊びに参加できるよう、オープンスペースの部屋を、活動内容によってコーナーにしたり広げたりしています。遊びやおもちゃについては、毎月振り返りを行い、子どもの発想で遊びが広がるおもちゃを検討しています。</p> <p>子ども同士の違いを認め合うことで、思いやりの気持ちが育まれるようにしています</p> <p>3～5歳児クラスは、週に3回、異年齢の子どもたちが4つのユニットを組み、少人数の異年齢クラスを編成しています。保育にあたっては、子ども同士の相互作用を通して、個人差や自分との違いに気づき、受容する心や思いやりの気持ちが育まれるようにしています。また、異年齢保育では、年下の子どもの活動を偏重しすぎて、年上の子どもが我慢する生活にならないよう配慮しています。特別な配慮が必要な子どもの保育においては、周りの子どもたちと自然に触れ合うことで、共に成長できるよう支援しています。</p> <p>子どもの成長過程でのトラブルに対しては、お互いを尊重した対応をしています</p> <p>子どもの発達過程で生じるトラブルに対しては、双方の気持ちをくみ取り、お互いを尊重した対応をしています。0～2歳児クラスでは、かみつきなどへの対応について、担当職員が子どもの状況を把握し、気配を察知した際には保育環境を変えるなどトラブルの未然防止に努めています。3～5歳児クラスにおける同年齢の子どもとのトラブルにおいては、介入のタイミングを見ながら、双方の気持ちを代弁するようにしています。5歳児クラスの就学に向けた準備に関しては、幼保小連携担当者連絡協議会への参加を通じて、小学校との連携体制を整えています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>登降園時には、保護者との対話を通じて子どもの様子を共有することを推進しています</p> <p>登園時には、子どもの家庭での様子や体調などを確認して登降園カードを預かり、保護者が気持ちよく出勤できるよう、笑顔で送り出すことを心がけています。保護者からの伝言事項については、引継ぎボードに記入し、担当職員間で正確に伝えることを徹底しています。降園時には、保護者一人ひとりに、子どものその日の様子をエピソードを交えて伝えています。担当の職員が不在の場合は、職員同士の引継ぎを確実にを行うよう注意しています。緊急の連絡事項については、連絡帳アプリを使用して、保護者への連絡を迅速に行っています。</p> <p>基本的な生活習慣は、子どもの発達状況に応じて少しずつ身につくようにしています</p> <p>基本的な生活習慣については、保護者と連携し、子どもの発達状況に応じて少しずつ身につくようにしています。特に、園での活動状況や家庭での様子を把握し、園の支援方法及び家庭でできることを共有しています。トイレトレーニングは、子どもの様子を確認しながら、無理なく進めることを心がけています。離乳食については、家庭での状況を把握したうえで、保護者と連絡を取りながら進めています。衣服の着脱は、年齢に応じて基本的な方法をわかりやすく伝えています。手洗いの方法については、歌に合わせて楽しく身につくように習慣化しています。</p> <p>休息や睡眠の時間帯は、子ども一人ひとりの生活リズムに合わせて設定しています</p> <p>0、1歳児クラスでは、子どもの生活リズムに配慮し、休息の時間や午前寝、夕寝を取り入れています。午睡に関しては、家庭での状況を把握するとともに、子どもの発達状態を見ながら、無理に寝かせることがないように留意しています。日常の保育においては、戸外で運動をした後は室内で静かに過ごすなど、動と静の活動をバランス良く行うことを大切にしています。5歳児クラスの子どもたちは、小学校での生活の準備期間として、年明けを目安に午睡の時間を無くし、戸外での活動や本を読むなどの時間にしています。</p>			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>集団活動においては、子どもが興味を持って自主的に取り組むことを大切にしています</p> <p>子どもが、集団活動に主体的に関われるよう、リズム・バランスなどの運動神経を高めるコーディネーション運動、体操、ダンス、英語レッスンなどを取り入れています。これらの活動においては、子どもに対して無理強いをせず、子どもが興味を持って自主的に取り組むことを大切にしています。特に、子どもの状況を良く見て、活動に入りたくても入れないのか、やりたくないのか、自信がない、違うことがしたいなど、理由や原因を探りながら、主体的に関われるよう声がけをし見守っています。集団活動については、毎月振り返りを行っています。</p> <p>自然に触れることができる公園では、草花を見つけるなどの戸外活動を楽しんでいます</p> <p>天気の良い日は、自然に触れることができる公園に散歩に出かけ、戸外活動を楽しんでいます。公園では、季節の移り変わりを感じながら、自由に遊べる時間を設けています。また、季節に合わせて草花や木の実を見つけるなど、自然物に触れる体験をしています。公園で見つけた草花や木の実、製作活動や遊びに活用しています。子どもたちが見つけたフウセンカズラは、園庭で花を咲かせることができました。また、園庭の朝顔は、色水遊びやスライム作りに使用するなど、子どもたちの遊びが広がるようにしています。</p> <p>子どもが言葉に興味を持ち、自分の思いを表現することを楽しむようにしています</p> <p>保育においては、子どもが言葉に興味や関心を持って、表現することを楽しむようにしています。0～2歳児クラスでは、まだ言葉にならなくても表情やしぐさから思いをくみ取り、応答的なかわりを通じて、伝えたい思いが発語につながることを大切にしています。また、絵本を通して、ふわふわ言葉(心が温かくなる言葉)やちくちく言葉(悲しくなる言葉)などを学んでいます。3～5歳児クラスの子どもたちは、英語に触れているいろいろな言葉の表現を楽しんでいます。また、ダンスなどを通して、様々な表現活動を体験しています。</p>			

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事の内容は子どもたちが話し合って決め、準備作業を協力して行っています</p> <p>行事の実施にあたっては、子どもが興味や関心を持っていることを取り入れ、子どもたちが主体的に取り組めるようにしています。3～5歳児クラスでは、「子ども会議」を開き、子ども同士で何をやりたいかを話し合って決めていきます。行事の内容が決まったら、必要なものは何かを考えて製作するなど、行事の開催に向けた準備作業を協力して行っています。こどもの日、お正月、ひな祭りなどの伝承行事は、一週間を通して行っています。また、七夕、お月見、節分の行事では、年齢に応じてごっこ遊びを楽しんでいます。</p> <p>夏祭りでは子ども会議で出店の種類や運営方法を決め、協力してやり遂げました</p> <p>夏祭りでは、「子ども会議」を通じて、出店の種類や運営方法などを決めていきます。今年度は、夏をテーマに、的当て、プレゼント屋、スーパーボール屋、釣り堀り、お寿司屋などを出店し、子どもたちが協力して運営しました。また、本番に向けて、景品作り、看板作り、盆踊りの練習などを行いました。職員は、子どもたちのやりたいことが実現できるように、側面から応援しました。夏祭りの当日は、小学校の体育館に出店を設置し、保護者も参加してみんなで楽しむことができました。また、協力してやり遂げた喜びを味わうことができました。</p> <p>行事予定表を通じて日程や内容を通知し、保護者が行事に参加できるよう配慮しています</p> <p>行事の日程については、行事予定表を事前に配付し、保護者が行事に参加できるよう配慮しています。また、行事の趣旨や取り組み内容などを、運営委員会やお便りを通じて伝えています。特に、子ども主体の行事であること、保護者も一緒に楽しめる内容であることを伝え、子どもの成長を身近に感じてもらえるように働きかけています。運動会や発表会では、結果にこだわらず、子どもが取り組んできた過程や頑張りを認めることを大切にしています。施設長は、行事開催の挨拶において、喜びを共感することの大切さを伝えるようにしています。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>延長保育の時間帯は、子どもが静かな環境の中でゆっくり過ごせるよう配慮しています</p> <p>保育時間の長い子どもには、その日の体調に留意し、一日を無理なく過ごせるよう配慮しています。延長保育の時間帯は、静かな環境の中でゆっくり過ごせるよう、ごろごろできる場所や遊びやすい空間を作るなど、環境の設定を工夫しています。また、週案の活動については、子どもたちの活動状況に合わせて、内容を変更することもあります。特に、週末は子どもに疲れが見えるため、戸外活動の内容や室内での活動を調整し、落ち着いて安全に過ごせるよう配慮しています。延長保育における子どもの様子は、振り返り会議において確認しています。</p> <p>保育時間の長い子どもには、夕方の補食の環境や使用するおもちゃを工夫しています</p> <p>夕方の時間帯は、合同保育は行わず、各クラスで対応できる体制を整えています。保育時間の長い子どもについては、担当職員から保護者へ日中の子どもの様子や体調を細かく伝えています。また、保護者からの伝言事項については、職員間での引継ぎを確実に行うことを徹底しています。夕方の補食については、少人数のゆったりとした雰囲気の中で、楽しく食べることができるよう配慮しています。延長時間で使用するおもちゃについては、特別感が持てるように、日中の保育で使用のおもちゃとは違うものを用意しています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>給食においては、子どもが安心して楽しく食べることができるよう工夫しています</p> <p>給食の時間は、子どもたちが楽しく食べることを大切にしています。食事はフルーツなどを含め全品を配膳し、自分の食べたいものから食べられるようにしています。完食や苦手なものを強制することはしていません。0、1歳児クラスでは、子ども一人ひとりの意思を尊重し、安心して飲んだり食べたりできるよう、担当の職員が声かけをしながら援助をしています。2～5歳児クラスでは、職員も一緒に食事をしながら、食べ物のおいしさや食べる事の喜びを伝えています。また、食べる時間が楽しく、心地よい時間になるよう、雰囲気作りを工夫しています。</p> <p>給食の献立や調理においては、栄養士が喫食状況を確認し栄養バランスに配慮しています</p> <p>給食の献立は、栄養士が、子どもたちの喫食の状況を確認しながら作成しています。調理においては、素材のおいしさを生かすよう薄味で出汁をきかせ、旬の食材を使って栄養バランスに配慮しています。また、郷土料理や世界各国の料理も取り入れ、メニューの幅を広げています。おやつは毎日手作りのものを提供し、子どもたちが楽しみにするよう努めています。誕生日には、おやつの誕生日プレートを使用し、お祝いをしています。食物アレルギーへの対応に関しては、完全除去を基本とし、管理体制を整備しています。</p> <p>年間食育計画に基づいて年齢に合わせた食育活動を行い、食への関心を深めています</p> <p>子どもの食育については、「年間食育計画」に基づいて、年齢に合わせた食育活動を行っています。保育においては、とうもろこしの皮むき、もやしの千切りなど、食材に触れる機会を提供しています。3～5歳児クラスでは、米とぎ、野菜切りなどを行うとともに、アイスクリーム、ピザ、クッキーなどのクッキング保育を楽しんでいます。保護者には、年に1回試食会を実施し、栄養士を交えて食育について懇談する機会を提供しています。園では、食品ロスの削減を旨とし、野菜や果物の皮を再利用して堆肥を作り、園庭の畑で野菜を作る際に使用しています。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>「安全計画」に基づいて、子どもが健康や安全に関心を持つよう指導しています</p> <p>子どもが自分で身を守る事の大切さを知り、身につけることができるよう「安全計画」を作成し、様々な安全指導を行っています。戸外活動においては、歩道の歩き方や公園での遊び方などについて、子どもたちと一緒に確認し実践しています。避難訓練や防災・防犯訓練では、災害や非常時の身の守り方を指導しています。衛生管理の指導においては、看護師及び担当職員が、年齢に応じた手洗いの指導をしています。また、感染症の予防に関しては、手洗いやうがい、消毒などを、日常の保育において習慣化しています。</p> <p>嘱託医及び医療機関と連携し、子どもの健康診断を定期的実施しています</p> <p>園の嘱託医と連携し、0歳児健診を毎月1回、全園児の健康診断を年2回、耳鼻科及び眼科検診を年1回、歯科検診を年2回行っています。健康診断の結果については、保護者に通知するとともに、状態に応じて嘱託医と相談しながら対応しています。歯科検診時には、歯科衛生士による歯磨き指導を行っています。保育中の事故やけがが発生した際には、状況に応じて嘱託医、各家庭の主治医、緊急医療機関と連携し、適切な対応を図っています。医療的ケアが必要な子どもが入園した場合は、医療機関及び保護者と連携し、適切な支援を行う体制を整えています。</p> <p>保護者には「保健だより」を配付し、子どもの健康管理に関する情報を提供しています</p> <p>子ども一人ひとりの健康を維持できるよう、保護者との連携を通じて、日常の子どもの健康状態を共有しています。保護者には、「保健だより」を毎月配付し、子どもの健康維持に向けて、感染症への対応や季節ごとの疾患への対策など、家庭で役立つ情報を提供しています。感染症の発生状況については、園内の掲示版や連絡帳アプリを通じて、最新情報を通知しています。乳幼児突然死症候群の予防に関しては、園の管理方法を保護者に説明するとともに、行政や専門機関のパンフレットやポスターを掲示しています。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者の就労状況や家庭の事情に配慮し、急な連絡や依頼にも柔軟に対応しています</p> <p>保護者の就労状況や家庭の事情を把握し、延長保育や保育時間の変更、迎えの保護者の変更、土曜保育の要望などに適切に対応する体制を整えています。保護者の状況については、入園時の面談シート、連絡帳、送迎時の対話などを通じて集約し、内容に応じてクラス会議や職員会議で共有しています。保護者からの緊急連絡や伝言については、引継ぎボードを使用し職員間の連絡を確実に行うとともに、連絡帳アプリを通じて共有しています。保護者に気になる様子が見られる場合は、職員が声をかけ、相談に応じるよう心がけています。</p> <p>保護者との信頼関係を深め、子どもの成長の喜びを共感することを実践しています</p> <p>今年度の重点目標として、「一人ひとりの子育て感に共感し寄り添い、子どもを共に育てるパートナーとなります」を設定し、保護者との信頼関係が深まる取り組みを推進しています。園内の掲示版には、全職員の写真と名前、自己紹介を掲示するとともに、保育業務支援システムのお便り機能を活用して配信しています。送迎時においては、子どもの様子をていねいに伝え、成長や子育ての喜びや悩みを、職員と保護者が共有することを実践しています。日常の保育の様子は、園便りやクラス便りに掲載し、分かりやすく伝えています。</p> <p>懇親会や「父親の会」の運営を通して、保護者同士が交流する機会を提供しています</p> <p>年に2回、懇親会を実施し、保護者同士が子育ての悩みなどを共有できる場を提供しています。また、運営委員会においては、保護者との意見交換を行うだけでなく、保護者同士が交流できる時間を設けています。今年度は、親子遠足を行い、スタンプラリーなどを親子で楽しむほかに、クラス単位での懇談の場や、終了後の保護者同志の交流時間を提供しました。また、今年度から「父親の会」を運営しており、各クラスにおける保育参加において、子どもと一緒に遊びながら、父親同士が交流できる機会を提供することを計画しています。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>公園や消防署、小学校などの地域資源を活用し、子どもが体験できる場を提供しています</p> <p>近隣の公園を利用し、季節の草花や木の実、落ち葉を拾ったり、虫探しなど通じて身近な自然に触れたりする時間を設けています。また、近くの消防署に立ち寄り、消防自動車や救急車を見学しています。運動会や夏祭りは、小学校の体育館を借りて行っています。5歳児クラスの子どもたちは、小学校のイベントに参加し、就学に向けた準備につなげています。園では、子どもの体験の場を広げることを目標に、芋掘り体験ができる畑を探しています。また、子どもが社会体験をすることができるよう、地域資源の活用を検討しています。</p> <p>地域の図書館や小学校と連携し、子どもが地域の人たちと交流する機会を設けています</p> <p>地域の図書館の職員による絵本、歌、手遊び、ペープサート(紙の人形劇)などを楽しむ会に参加し、地域の人たちと交流しています。地元の中学生の職場体験では、生徒と交流する時間を設けています。また、小学校と連携し、小学生が園を訪問して子どもたちと交流する機会を提供しています。コロナ禍で直接触れ合うことが制限されていますが、敬老の日に手作りカードを送り、ストラップを受け取るなど、高齢者施設との交流を続けています。今後は、積極的に地域に働きかけ、子どもたちが地域の人たちと交流できる機会を増やすことを検討しています。</p>		

調査対象

保育園を利用している54世帯を対象に調査を実施しました。在園児は62名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	62
利用者家族総数(世帯)	54
共通評価項目による調査対象者数	54
共通評価項目による調査の有効回答者数	16
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	29.6

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が11人(68.8%)、「満足」が5人(31.3%)で「満足」以上の回答は合計16人(100%)でした。

自由意見には、「先生方が日々愛情を持って子どもたちに接してくれる点が素晴らしいです」「とても気持ちよく、親子共々楽しく登園させていただいています」「担任の先生はもちろん、担任以外の先生も子どものことをよく見てくださり、感謝しかありません」「行事への取り組みも計画的で、子どもたちの意見を尊重し、発達に合わせて子どもたちと作り上げているのが伝わってきます」「とてもアットホームです」「子どもがのびのびできています」「園庭があるのが良いです」「Webカメラで子どもが保育園でどのように過ごしているか、仕事の合間に見ることが出来ます」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか」で100.0%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が見取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	16	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「幼児クラスは縦割り保育のため、上の学年から刺激を受けたり、下の学年の面倒を見たりすることで、成長を感じると感じます」「同年代の子どもや異年齢保育を通して、友達とかかわる楽しさを感じているようです」「初めての集団生活の場を通してさまざまな大人とかかわり、いろいろなことを学んでいるようです」「さまざまな活動を考えてくれています」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	16	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「季節のイベントを大事にしてくれているおかげで、楽しみながら四季を感じることができています」「世界の国やSDGsについても保育園で学んだことをきっかけに、子どもが興味をもつようになりました」「体操教室や英語教室があり、家でも柔軟体操やダンス、英語の歌をお披露目してくれています」「運動会や発表会など集団で行う行事を、楽しみながら学んでいるようです」「乳児クラスでも絵の具や泥遊びなどの取り組みも定期的に取り入れてくれます」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	2	0	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「家では食べないメニューも、給食なら食べられるので、ありがたいです」「食育として簡単な調理実習もあり、食への興味が広がりました」「年に一度か二度、試食会を園内で行ってくれています」「給食の試食はもちろん、園での給食の提供の仕方や人気の給食の作り方、質問や相談にも快く応じてくれます」「家より多く食べています」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	5	0	0
「はい」が68.8%、「どちらともいえない」が31.3%でした。 自由意見には、「行事は本当に力を入れていただいています」「昨年は戸外遊びが少なく、バギーを利用しての散歩が多く、残念に感じていました。今は夏のため、熱中症になる危険性も高く、慎重に対応をしていただいているかと思います」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	13	1	0	2
「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が6.3%、「無回答・非該当」が12.5%でした。 自由意見には、「急な仕事の残業や、お迎えが遅れるなどの際、臨機応変に対応をしていただいています」「急な土曜保育などにもいつも温かい対応で、本当に助かっていると聞きました」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	11	3	2	0
「はい」が68.8%、「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が12.5%でした。 自由意見には、「災害や事故へは十分に対策を考えていると思いますが、感染症対策については認識が甘いと思います」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	15	1	0	0
「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が6.3%でした。 自由意見には、「保護者会やイベントは土曜日の開催なのでありがたいです」「コロナ禍からはオンライン保育参観も始まり、仕事の合間に参加できるので助かっています」「新年度の始めに年間スケジュールをいただけるので、安心しています」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	14	2	0	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「経営層は子育ての経験があり、病気など子育てに関する事など、センシティブな話もしやすいと感じています」「担任の先生にも補助の先生にも、声をかけやすいです」「子どもの性格や成長に合わせてくださり、不安に思っていることなども面談で相談に乗ってくれます」「先生方が親身になってくれます。保護者の立場に立ってくれます」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	2	0	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「朝、先生がよくお掃除をしてくれています」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	15	1	0	0
「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が6.3%でした。 自由意見には、「担任の先生以外にも、明るく声をかけてくれます」「いろんな個性の先生方がいて自由で、いろんな先生方に揉まれて大きく育っていくので、ありがたいです」「顔見知りの先生は、毎朝声をかけてくれて嬉しいです」「先生方が明るく元気で、いつも気持ちの良い挨拶をしてくださいます」「みなさん明るくて、話しやすいです」などの声がありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	3	0	0
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が18.8%でした。 自由意見には、「いつもありがとうございます」「全員をずっと見ているのは難しいのかなと思うので、仕方ないですが、実はけがをしていたということはたまにあります」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	13	2	0	1
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が12.5%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「大きなトラブルはないのでなんとも言えませんが、細かなことまできちんと報告をしてくれて、安心しています」「同じトラブルが何度かありましたが、誠意ある対応をしていただいています」などの声がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	13	3	0	0
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が18.8%でした。 自由意見には、「担任の先生方は本当に頭が下がるくらい考えてくれています」「子どもが毎日、『〇〇先生とこんな話をした』などと報告をしてくれます」「毎日、子どもたち一人ひとりに、丁寧に接してくださいます」「子どもが嫌がることは決して無理強いせず、その子どものペースに合わせてくれます」「一人ひとりの子どもに寄り添って、愛情深く接して下さっています」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	2	0	1
<p>「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が12.5%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「いつもありがとうございます」「子どものプライバシーは守っていると思いますが、現にその状況は目にしたことがないため、どちらともいえません」などの声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	16	0	0	0
<p>「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「担任以外の方でも廊下ですれ違くと、今日はこんなことがあったと教えてくれて、とてもありがたいです」「迎えに来た保護者に、今日行ったこと、様子など、詳しく伝えてくださいます」「毎日写真をたくさん撮ってくれるので、子どもが楽しんでいる様子がわかってよいです」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	14	2	0	0
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「むしろよく聞きすぎていて、そんなに言う通りにしなくてもいいのではと思うくらいです」「不満がそもそもありません」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	11	0	4	1
<p>「はい」が68.8%、「いいえ」が25.0%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 この質問に関連するコメントはありませんでした。</p>				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証